

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	ユーザー・オリエンティド・デザイン小委員会	主 査 名：西出 和彦 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：菊地 成朋 主 査 名：西出 和彦
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	目的：「ユーザー・オリエンティド」(利用者中心)の理念を活動方針とし、いかなる心身状況の者でも利用可能な建築環境の構築を目指した研究活動を展開 今年度課題：「ユーザーの行動のディテールおよび行動の意味の把握」を重点課題として研究会を開催し、その成果を積み上げていく。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有り 主査：西出和彦 (東京大学)、幹事：菅原麻衣子 (東洋大学)、松田雄二 (お茶の水女子大学)、委員：石垣文 (広島大学)、石橋達勇 (北海学園大学)、佐藤克志 (日本女子大学)、鈴木義弘 (大分大学)、橘弘志 (実践女子大学)、田中賢 (日本福祉大学)、富永哲雄 (大阪市立大学)、西野亜希子 (東京大学)、原利明 (鹿島建設)、藤井容子 (東京大学)、藤岡泰寛 (横浜国立大学)、山崎晋 (明治大学)、計 15 名	
設置 WG (WG 名：目的)	(仮称)「ユーザーのニーズを反映した建築計画・デザインを生み出す手法」出版 WG：以下の 3 つの事柄をまとめ、委員会活動の集大成として書籍の出版を目指す。1) 新たなユーザーの「発見」、2) 新たなユーザーニーズの把握と具体的な建築への変換、3) それら具体的な成果の一般化、普遍化の可能性の追求	
2013 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	第 2 回研究会「社会的な困難に直面するユーザーを支えるデザイン」 参加者数 30 名 資料名：同上 第 3 回研究会「当事者参加のプロセスから考える空港設計の成果と課題」 参加者数 33 名 資料名：同上 第 4 回研究会「見落とされてきた真のニーズを汲み取り”さりげなく”デザインする方法とは」 参加者数 37 名 資料名：同上 第 5 回研究会「患者側ニーズを中心とした医療施設の計画設計を考える」 参加者数 40 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 委員会を 5 回開催し、今年度課題について活発な議論を行った。 2. 第 2～5 回の公開研究会を企画・実施し、多様なユーザーのニーズを把握する手法に加えて、それをデザインにいかん反映させていくか、議論を深めた。 3. 出版 WG において、各研究会の成果のとりまとめ方を検討した。
委員会活動の問題点・課題	1. 来年度新たに公募委員 3 名を迎えて、より多角的な議論を展開していく。 2. これまで第 1～5 回の研究会成果を積み上げてきたが、出版企画に向けて、これまでの研究会テーマの整理及び今後のテーマ設定の検討が必要である。